

2024年度

ニチキッズ新鎌ヶ谷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月21日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念を念頭におき、一人ひとりの発達段階を踏まえ一人ひとりに寄り添う保育を行えるように都度ミーティングを重ね、職員全員で同じ視点での保育を行うことが出来た。
子どもの発達援助	「おもいっきり」をたくさん経験出来るように、人的・物的環境を整え一人ひとりの思いや意思を尊重した保育をしてきた。個々の発達段階を把握して一人ひとりに合った遊びを提供していった。
保護者に対する支援	送迎時やコドモンにて、その日の子どもの様子を伝え合ったり、年2回保護者会を開き、子どもの成長した姿などを伝え、保護者の想いを受け止めながらより丁寧に接することで関係を築くことが出来た。
保育を支える組織的基盤	園内研修、会議、ミーティングの充実を図ったことで、職員間の連携や情報共有を行い、皆で思いや意見を出せるようになり良い環境の中で業務を行えている。

総評
園の保育理念を理解し、子ども主体の保育ができるように取り組んできた。戸外遊びを多く取り入れ、近隣の公園で季節の自然物に触れて遊んだり、思いっきり体を動かして遊ぶことを楽しんでいた。室内でも限られたスペースの中で、一人ひとりが満足できる遊びの提供をし、自分の興味のあることを十分に取り組めるようにしていった。次年度も一人ひとりが主体的に遊びを展開できるように適切な環境を整え、一人ひとりの発達に合った援助をして安心して生活ができるようにしていきたい。また家庭との連携も大切にしながら、信頼関係を深めていきたい。